

授業科目 検査測定評価学Ⅰ

【担当教員名】 古西 勇 他	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要・一般目標：GI0】

理学療法の臨床において、検査測定評価の「思考」や「技術」は、対象者に実施する個別の治療の方針や枠組みを決定するために用いられる。この授業科目では、評価の概要、記録方法、病歴の取り方などについて理解し、各種検査測定法の基礎知識と手順を修得する。

【学習目標】

1. 評価の概要（目的、過程、対象など）、記録方法、病歴の取り方について述べる。
2. 全身状態・局所所見、バイタルサイン測定、関節可動域測定、徒手筋力検査法、形態測定、各種神経診察、バランス検査について述べる。
3. 学生間で検査者と被検査者の役割を演じながら検査測定の手順に慣れる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	総論：評価の概要（目的、過程、対象など）、病歴の取り方、全身状態・局所所見、バイタルサイン測定	1～3	講義・演習・ワークシート提出 古西、他
2	各論1：関節可動域測定と徒手筋力検査法の概要	2, 3	講義・演習・小テスト 古西、他
3	各論2：形態測定（骨格系ランドマークの触診、肢長と周径の測定）	2, 3	講義・演習・ワークシート提出 古西、他
4	各論3：神経診察1. 脳神経系	2, 3	講義・演習・ワークシート提出 古西、他
5	各論4：神経診察2. 上肢の運動系、起立・歩行の観察、下肢の運動系	2, 3	講義・演習・ワークシート提出 古西、他
6	各論5：神経診察3. 感覚系	2, 3	講義・演習・ワークシート提出 古西、他
7	各論6：神経診察4. 反射	2, 3	講義・演習・ワークシート提出 古西、他
8	各論7：バランス検査	2, 3	講義・演習・ワークシート提出 古西、他

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	診察と手技がみえるvol.1 第2版	編集 古谷伸之	メディックメディア	2007・6,300円
	新・徒手筋力検査法 第8版	Hislop HJ 他	協同医書出版社	2008・7,875円
	理学療法評価学 第2版	松澤正	金原出版	2004・6,510円
参考書	ベッドサイド神経の診かた第16版	田崎義昭 他	南山堂	2004・7,560円
その他の資料				

【評価方法】

出席、小テスト、ワークシートの提出、定期試験（筆記）、その他。

【履修上の留意点】

1年次後期終了時に2年次授業オリエンテーションを実施（後日、日時を掲示）し、休暇中の自己学習課題（小テストの範囲）を出し、授業を受ける際の服装などの注意事項を説明します。打腱器と関節角度計、いくつかの小物（安全ピン、つまようじ、筆、ゼムクリップ、メジャーなど）を自分で購入・準備してもらいます。